



奈良県感染症情報

令和5年 第49週(12月4日～12月10日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

「インフルエンザ」「咽頭結膜熱」 警報発令中です!

今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(11月)
- 11月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況)

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	33.65	(27.69)	↑	↑	↑	↑
2	感染性胃腸炎	5.76	(5.38)	↗	↗	↑	→
3	咽頭結膜熱	4.18	(4.94)	↘	→	↘	↗
4	新型コロナウイルス感染症	4.09	(3.58)	↑	↑	↑	↑
5	A群溶連菌咽頭炎	4.06	(2.79)	→	→	↗	↗

発生状況: **大流行** **流行** やや流行 **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

※新型コロナウイルス感染症等、基準値のない疾患については発生状況の評価を行っておりません。

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆県内概況◆

第49週のインフルエンザの定点当たり報告数は、33.65と警報基準値「30.0」を上回り、警報発令となりました。県内全域で報告数が増加しており、特に中和保健所管内からの報告が多くなっています。

咽頭結膜熱の定点あたり報告数は4.18と、前週の4.94より減少していますが、依然として警報基準値「3.0」を上回っており、引き続き警報発令中です。

新型コロナウイルス感染症の定点あたり報告数は4.09と、前週の3.58より増加しています。

A群溶連菌咽頭炎の定点あたり報告数は4.06と増加しており、特に中和保健所西部地域の報告数が非常に多くなっています。

感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。ほかの人にうつしてしまわないよう、「咳エチケット」にご協力をお願いします。

出典: 厚生労働省 HP

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001174681.pdf>

感染症対策へのご協力をお願いします

咳エチケット

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

■ほかの人にうつさないために
くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスをきんでいるかもしれません。次のような咳エチケットを心がけましょう。

- ・マスクを着用します。
- ・ティッシュなどで鼻と口を覆います。
- ・とっさの時は袖や上着の内側で覆います。
- ・周囲の人からなるべく離れます。

3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まる場所でも

マスクを着用する (口鼻を覆う) | ティッシュハンカチで口鼻を覆う | 袖で口鼻を覆う | 荷むせずに咳やくしゃみをする | 咳やくしゃみを手でおさえる

正しいマスクの着用

- 鼻と口の両方を確実に覆う
- ゴムひもを耳にかける
- 隙間がないよう密着させる

責任発原: 厚生労働省 | 厚生労働省 | 厚生労働省 | 厚生労働省

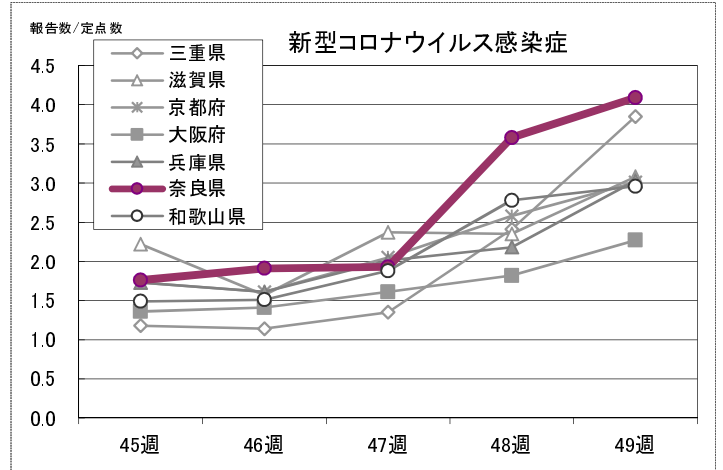
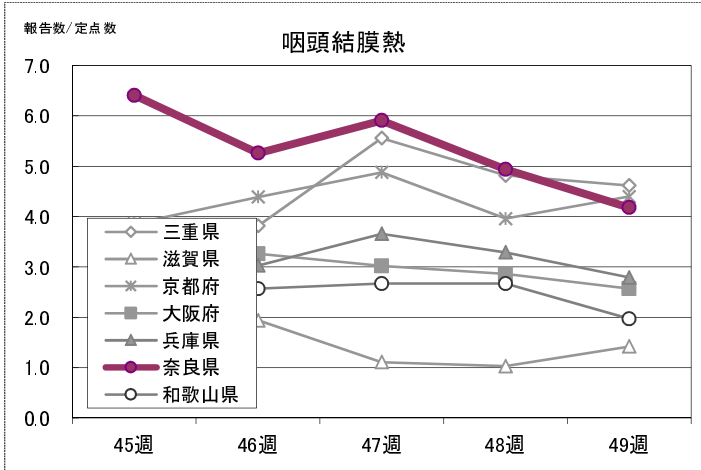
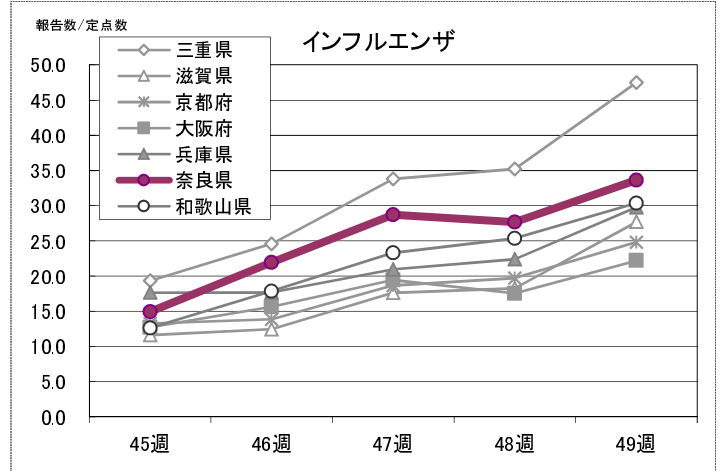
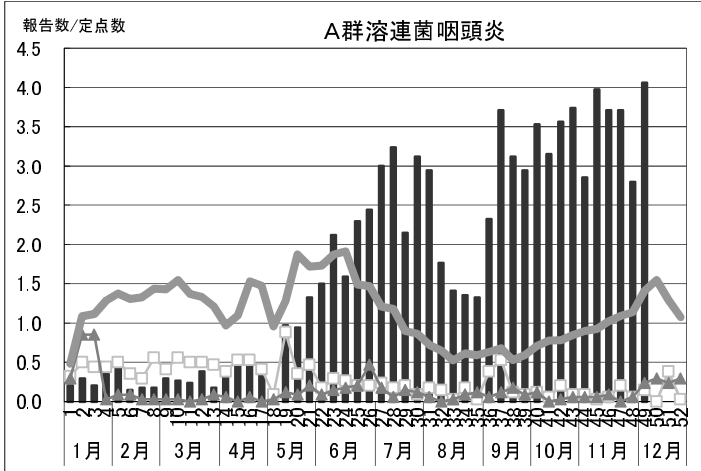
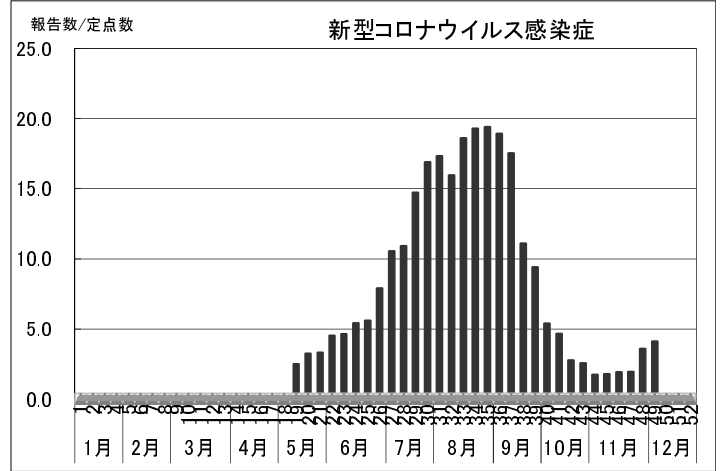
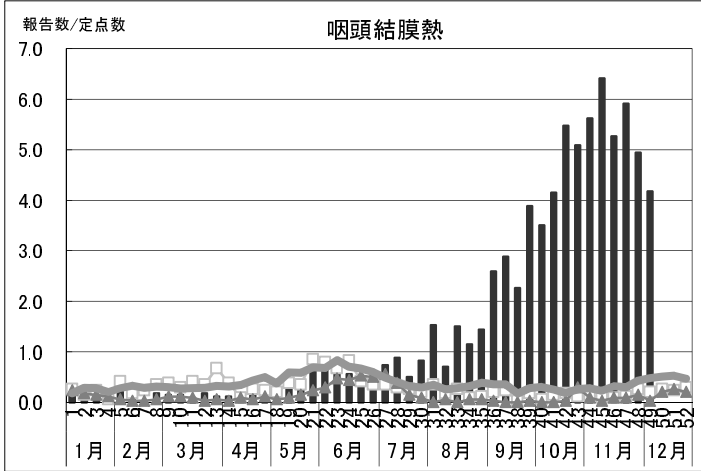
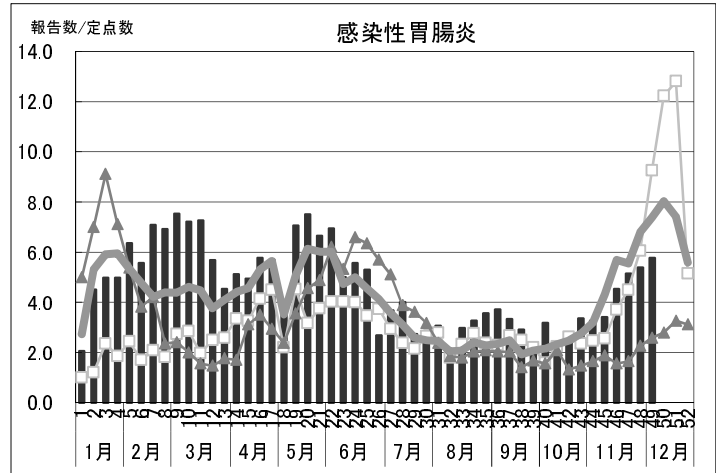
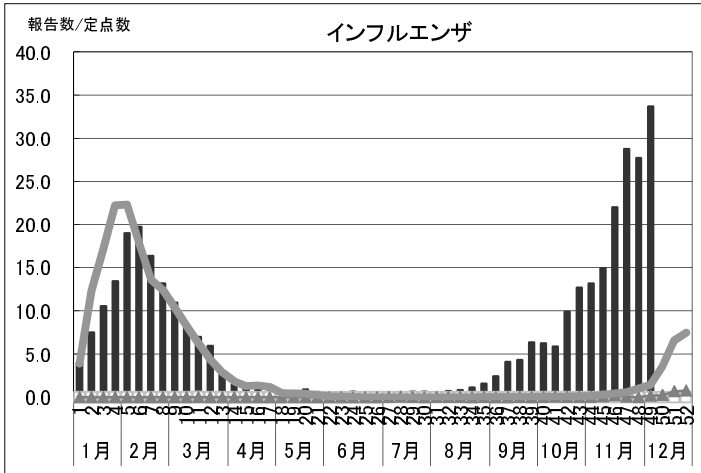
◆病原体(ウイルス)検出情報(令和5年12月)◆

*ウイルス分離同日での集計結果

検出病原体		北部	中部	南部	その他	臨床診断名
アデノ	3	2	4		1	咽頭結膜熱(4) アデノウイルス感染症(1) 感染性胃腸炎・アデノウイルス咽頭炎(1) アデノウイルス咽頭炎(1)
インフルエンザ	AH3	1	1			インフルエンザ(2)
インフルエンザ	AH1pdm09	2	3			インフルエンザ(5)

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ R5 ▲ R4 □ R3 〰 過去10年平均



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 5 年 11 月

性感染症定点数	奈良県		北部		中部		南部		上段：報告数 (下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数												累計は、2023年1月からの累計				
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計	
性器クラミジア感染症	26 (2.36)	3 (1.00)	15 (5.00)	4 (2.00)	4 (1.33)	...	男						1	8	1	2	1		1	1				15	108
						女								5	3	1	1	1					11	151	
性器ヘルペス	5 (0.45)		1 (0.33)		4 (1.33)	...	男									1	2	1					5	42	
						女							1												
尖圭コンジローマ	2 (0.18)	1 (0.33)			1 (0.33)	...	男																2	13	
						女						1		1											17
淋菌感染症	10 (0.91)		7 (2.33)	1 (0.50)	2 (0.67)	...	男						1	1	1	2		1					7	53	
						女						2		1									3	14	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	22 (3.67)	3 (3.00)	5 (2.50)	8 (8.00)	6 (6.00)		男	2											2				10	16	193
						女														1			4	6	115
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	3 (0.50)	1 (1.00)	2 (1.00)				男															1		3	18
						女																	2		11
薬剤耐性緑膿菌感染症							男																		
						女																			

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

